

# 白川芝山

江戸時代後期、淡路の三原郡金屋村に生まれた賀集芳介、

のちの白川芝山は、書・画・俳諧に通じた才人として、

京都・江戸・大坂の三都と郷里・淡路の地で活躍しました。

書は中国唐代の張旭に倣った自由闊達な草書で知られ、

絵は、この時期、新たに流入した明清絵画、

南蘋派なども取り入れつつ、

画題に応じて器用に描き分けた佳品を遺しています。

一方、玉蕉庵と号して俳諧にも通じ、

多くの俳書を刊行した文化人でもあった

芝山の書画作品を本展では紹介いたします。



竹虎図 白川芝山筆 黒田敏夫氏寄贈

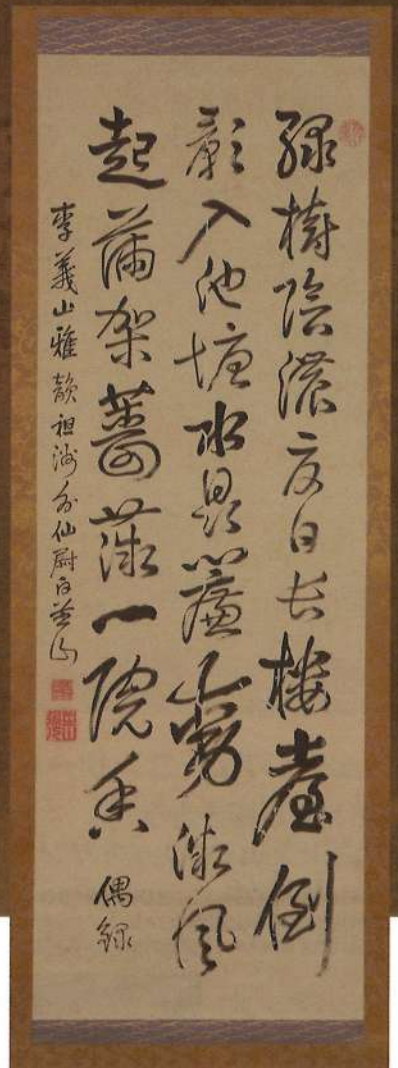


倣蕪村俳十仙図 白川芝山筆  
仁羽智也氏蔵

雲龍波濤図(部分) 白川芝山筆  
仁羽智也氏蔵



薩埵峠富士図 白川芝山筆 個人蔵



草書七絶「偶録李義山雅韻（山亭夏日）」 白川芝山筆 個人蔵